

みのお山麓保全活動助成の報告

事例② 里山とのふれあい

箕面の山の歴史と文化を楽しむ

# 八天石蔵・八天杉への道づくり！

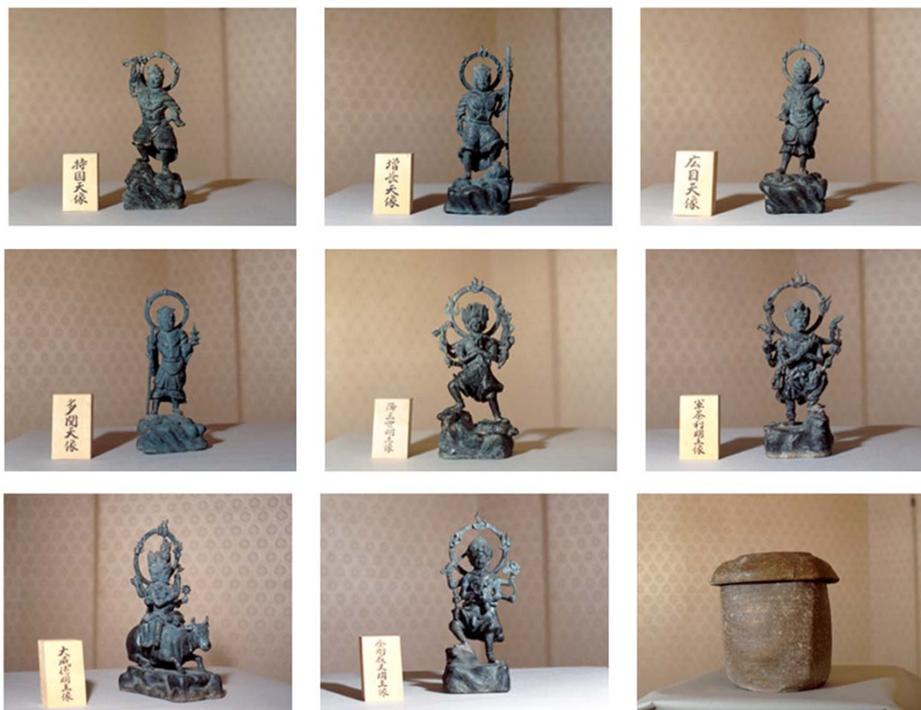
～助成団体・関係機関との連携事例～



発表予定時間：15分

# 八天石蔵

勝尾寺の寺領の境界を示すために山中に造られた史跡「八天石蔵」



鎌倉時代の寛喜2（1230）年、寺領の境界を巡って、村民との争いが何度もあったことから、勝尾寺が周辺の山中に、石積みの壇を8カ所築き、その中に仏像を埋めました。  
仏像は国の重要文化財に指定され、勝尾寺に保管（非公開）されています。

# 八天杉・増長天へ 行きたい！

車道沿いから八天杉はみえるが、  
近くへ行く道はなし、石蔵も倒れて・・・



# 八天杉・増長天への道 整備へ

2020年2月 「整備したいね」「管理者は誰だろう？」

→パト隊より森林官を通じて相談

鉄柵内は教育委員会・勝尾寺などの管轄、  
その範囲は触らず、八天杉までの道整備なら可

2020年3月 整備計画案を提出、森林官と現地下見

～ コロナで一端中断、6月に再開 ～

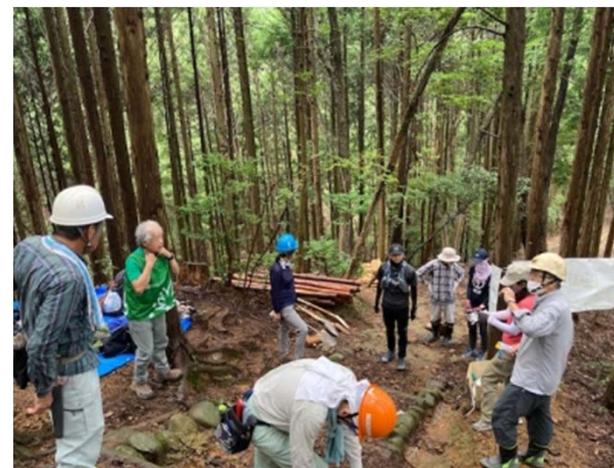


# 八天杉・増長天へ 整備へ

2020年6月 きこり隊・演習林で木材を準備

8月 木材搬出

9月 整備作業（パト隊・きこり隊 15名）



# 八天杉・増長天へ 整備へ



自然研究路 5 号線から  
108m のルートが完成！



## 整備、その後 行政による本格整備へ

- ・ 9月13日 整備作業（パト隊&きこり隊）
- ・ 9月25日 市職員・府職員で現地調査
- ・ 10月28日 箕面市郷土資料館、大阪府文化財保護課により石蔵（石柱）が補修される
- ・ 10月 休養林協議会の定例会で取り上げ
  - 次年度の事業計画として取り上げるかどうかの検討
  - 他の八天石蔵の現状について情報収集 など
- ・ 2021年度より箕面市により八天石蔵の整備が始まる（2-3か所ずつ数年計画）、休養林協議会でも道標設置を計画



# 整備、その後 道標設置 & イベント活用！

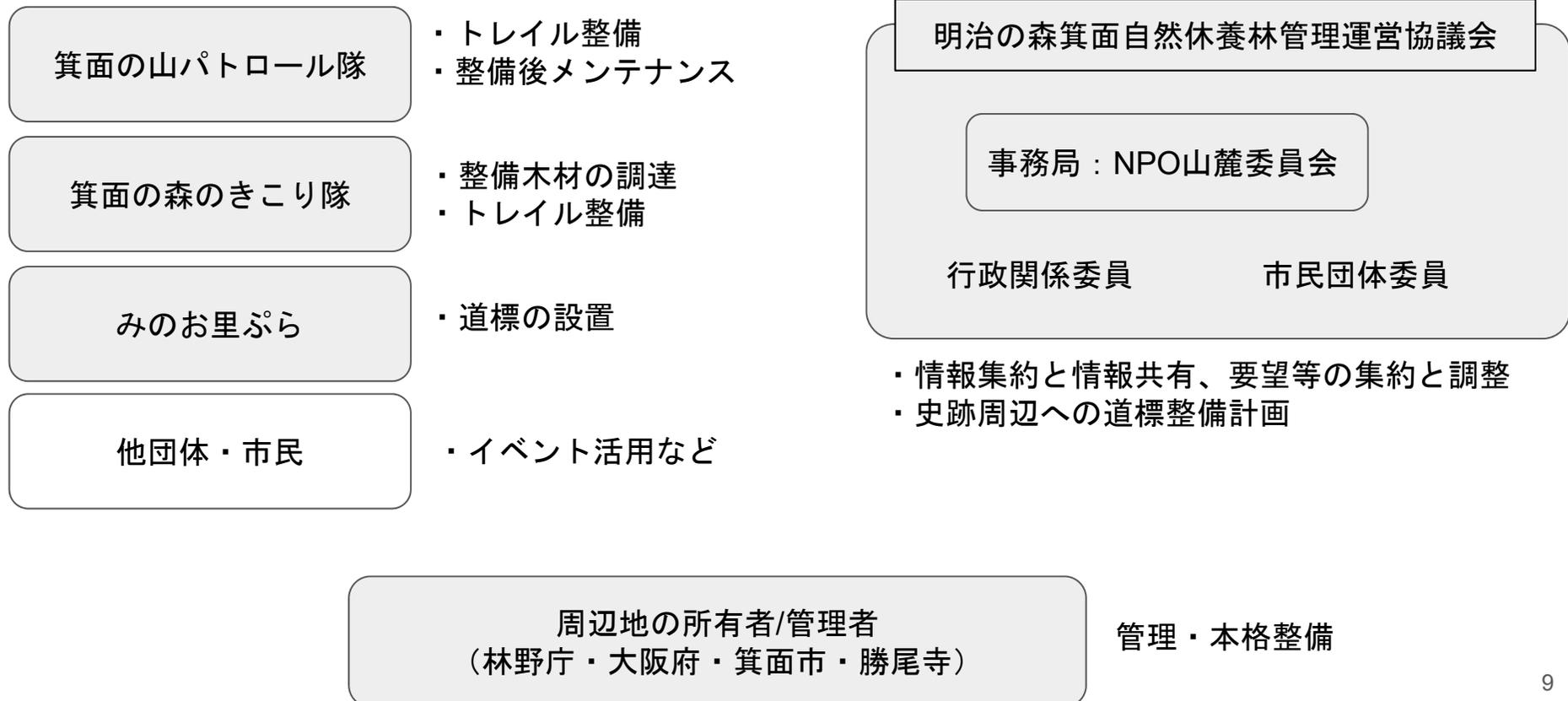
- 2022年3月27日  
みのお八天石蔵ウォークトライアル  
箕面市・教育委員会主催  
＞実施前にパト隊にて再度整備



- みのお里ぶら/休養林協議会にて  
道標の設置
- 2023年3月5日  
第2回みのお八天石蔵ウォークトライアル
- 2024年3月に第3回も実施予定



# この事例のプレイヤーと役割



# 「この事例で特にポイントとなった点」 「共有したいエピソード」



- ・ 2014年から八天石蔵を巡るクリーントレラン（毎月）、トレイル整備活動の下地
- ・ 木材調達の壁、きこり隊との連携が「出来るかも！」と思えたきっかけ
- ・ 最初の「管理者どこ？」の確認は山麓委員会の協力によりスムーズにいった
- ・ 林野庁の窓口/江間森林官は普段よりクリーンハイキングに同行で顔がわかる関係
- ・ 隊内ではトレイル整備（シニア）とトレランチーム（現役メンバー）のコラボに
- ・ 八天石蔵トライアルウォークは実行委員として参画（定期的なメンテナンスへ）

## ・ 整備のための材木の調達について協力

箕面の森のきこり隊

⇒きこり隊の活動地である外院の民有地（ヒノキ人工林）の間伐材の利用について、地権者さんの了解をもらう。

- ・ きこり隊の定例活動日に、斜面土留め用横木2m・25本、階段横木50cm・20本、杭50cm・60本 を作製し、ハイキング道入口に搬入



△間伐材をそれぞれ2mおよび50cmの長さに玉切り

△ナタを使って杭60本を作製

## みのお里ぷら (旧名称 みのお里山ふれあいプラットフォーム)

活動内容：ハイキング 樹林手入れ 案内板管理 鹿害カメラ管理  
設立21年目！

- この事例との関わり  
八天の石蔵への案内板を設置をしました (増長天／持国天)
- 「箕面の森の案内板」のこと
  - ・山を歩く人の安全、安心緊急ポイントを兼ね、  
119番消防署との連携
  - ・明治の森休養林協議会からの依頼  
約157カ所設置し、その管理も行っています
  - ・山道の分岐点に設置しているのが殆どですが、  
遺跡への道案内は「八天の石蔵」が最初です
  - ・案内板の不具合は連絡ください みのお山麓委員会へ



△増長天へ (自然研究路6号線)



△持国天へ (勝尾寺園地駐車場)

# 明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会

## 情報の共有化・意見交換による行動発生場の作り

市民団体が中心の活動、行政など関係者との連携を密にして、対話と協働による取り組み

八天の石蔵の整備 ※2020年から  
自然休養林及び周辺の史跡や文化財に注目  
箕面市/文化財担当及び地権者などとの調整  
※地権者：国・大阪府・北摂霊園・民有地など

### ポイント

- ☆一部の箕面市や市民団体だけが活動しても課題解決が難しい場合がある
- ☆関係者である国や大阪府・北摂霊園などとのネットワークが大切
- ☆情報共有と意見交換を前提として、行政と市民が役割分担  
※現在、利用マニュアルを整備中



協議会例会



安心安全に利用できる道標やベンチの設置

# 明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 構成団体

## 市民団体委員

- ・ 公益社団法人 大阪自然環境保全協会
- ・ NPO法人 日本森林ボランティア協会
- ・ 清水谷をまもる会
- ・ 箕面観光ボランティアガイド
- ・ 箕面里山工房
- ・ みのお里ふら
- ・ 箕面ナチュラルリストクラブ
- ・ 箕面生物多様性会議（生きもの会議）
- ・ 箕面の山パトロール隊
- ・ 箕面自然調査会
- ・ NPO法人 とどろみの森クラブ
- ・ NPO法人 みのお山麓保全委員会（事務局）

## 相談役

- ・ 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所

## 行政関係委員

- ・ 大阪府北部農と緑の総合事務所  
みどり環境課
- ・ （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所  
生物多様性センター
- ・ （独）森林総合研究所  
森林資源管理研究グループ
- ・ 箕面市教育委員会 教育センター
- ・ 箕面市 環境動物室 天然記念物室
- ・ 箕面市 みどりまちづくり部公園緑地室
- ・ 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター

## ※オブザーバー

- ・ 府営箕面公園管理事務所

12の市民団体と国・府・市や研究所など、9の行政機関で構成（事務局：山麓委員会）年7回例会などを開催、自主的な活動を実施 **2009年発足**

## この事例のポイント！まとめ



- 助成団体間のネットワークの形成ができていたこと
  - ある人材が複数団体に所属することで、新しい連携が生まれる
  - 1団体では出来なかったこと、それぞれの強味を合わせて実行できた！
- 各行政機関との連携・情報共有がスムーズに行われ、さらなる整備と活用へつながった
  - 中間支援組織である山麓委員会の存在、休養林協議会における情報共有
- 活用とメンテナンスは今後も継続した対応が必要
  - 休養林協議会（事務局：山麓委員会）を軸に看板設置や活用・メンテナンスの調整等が進行中